

平成 29 年度 評価 報告 書

平成 30 年 3 月 23 日

加治木ゆなの木保育園

園長 正村 幸雄

先日は、保育園に関するアンケートのご協力ありがとうございました。
本園保育士の自己評価とあわせて、結果報告をさせていただきます。
本園の現状をご理解していただく参考になれば幸いです。
結果を基に、より良い保育を行うように努めて参ります。



1. 本園の保育方針

- 一人ひとりの子どもが安心して園生活を送れるように信頼関係を築く。
- 遊びを通して心身発達を促す環境作り。
- 伝承の文化を活かした保育。
- 楽しい食事で健康に。
- 保護者と園が力を合わせる子育て。

2. 保育目標

- 健康で情緒が安定し、基本的生活習慣の自立が出来る子ども。

3. 重点的に取り組む目標、計画

評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって、職員自らが客観的に自己、自園を見る目を養い、保育内容の確認、資質向上に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。

4. 評価項目の達成及び取り組み状況

- 保育計画と内容・・・毎年指導計画の検討を行い、園の保育方針・子どもの発達段階に即した内容になるように保育指導案を作成し、月末に反省と共に評価を行い、保育に活かせるようにしている。
また、0・1・2歳児は、保育所保育指針に基づき個別計画を作成している。
- 保育のあり方、子どもへの対応・・・一人ひとりの子どものよさを認め、保育士が客観的に子どもを見る目を養い、発達に応じた援助に努める。
肯定的な声掛けを行うことで子どもの自己評価を高める。
子どもが示す様々な欲求に適切に対応し信頼関係を築いている。
- 環境の構成・・・保育室、園庭の遊具が安全かつ清潔であるように毎月点検表に基づいた点検をし必要に応じて清掃、修繕、補修を行っている。
また、子どもが安定して遊び、興味関心、創造性を育む環境構成を心掛けている。
- 研修・資質向上・・・園外の研修参加、園内研修等を行い、専門性を高めると共に研修内容を総括し、全ての職員が研修内容を理解し、自己課題の分析、保育技術の向上に努めている。
- 保護者への対応・・・保護者と連携を取り、必要に応じて面談等を行い子どもの成長を共に考え見守る様に努めている。保護者からの意見や相談に誠意を持って対応するよう心がけている。苦情については「第三者委員会」を設置し、張り紙などで告知し、常時、利用できるように努めている。

5. 具体的な目標や計画の総合的な評価結果

子ども達一人ひとりが、より良い環境の中で安定した保育を受けられるように保育の計画や保育の記録を通して、自らの保育実践を振り返り、自己評価する。
今年度、評価した、結果に基づき職員一人ひとりが、園内外の研修などを通し資質及び専門性の向上を図り努めていきたいと思ひます。
また、遊びの重要性を保護者へも十分に理解していただけるように保護者会などを通じ、伝えていく。
(DVD 視聴等)

6. 今後の目標、課題

「子どもの育ちをとらえる視点」、「自らの保育をとらえる視点」を持ち、より良い保育を目指し、現在の状況に満足することなく、研修参加等、自己研鑽に努める姿が見られました。
今後も職員一同、より一層努力していきたいと思ひます。
保護者アンケートを行うことで、保護者の満足度、求められる保育園の姿など把握し確認することができました。少数意見も貴重な意見とし、職員間で話し合い、共通理解することで保護者に満足していただけるように努めていきます。

※保護者の方のアンケート結果は、下記の通りです。

(回収率：72%)

	A	B	C	D
① 本園の教育方針を理解している	69.4	27.0	3.6	0
② 子どもさんは、保育園に行くことを楽しみにしている	80.0	16.4	3.6	0
③ 保護者は、安心して保育園に通わせている	91.6	8.4	0	0
④ 保育園は、園児を理解し、園児の育ちを援助している	80.0	16.4	0	3.6
⑤ 当園の行事（入園時、配布しおり参照）は園児にとって充実した物になっている	61	27.7	3.6	7.7
⑥ 職員に子育てや相談事を気軽にできる	77.4	19	3.6	0
A:あてはまる B:大体あてはまる C:あてはまらない D:わからない (%)				

すべての項目で「あてはまる」「だいたいあてはまる」の評価を頂きました。

園の方針をご理解して頂きありがとうございました。

貴重なご意見、質問も頂きました。

《保育参観について》

◎保育園での様子を年1回でも見る機会があると嬉しい。

現在は、保護者会の際に、DVDなどで生活の様子などお伝えしています。

私たちは、日常を大事にしています。特に0・1・2歳児は、保育参観でお父さんお母さんの姿を見つけると近くに行きたくなり泣いたり不機嫌になったり安心していつもの生活が送れません。子どもたちのいつもの園生活を保障するためにも保育参観は行っていません。送迎の時間に余裕があれば廊下の窓などからご自由にご覧ください。

3.4.5歳児は、保護者参加の行事等で様子を見ていただければと思います。

《親子遠足について》

◎平日にあるので少し負担である

例年親子遠足に行く際は、龍桜高校のバスを使わせていただき保護者負担はありません。

その為バスの運転手の勤務の関係、また、週末になると水族館の入場者が増加することなど考慮し、平日に行っています。年に一度の平日の行事です。保護者の皆様のご理解をお願いします。

《保育内容について》

◎行事製作を増やしてほしい、スケッチブックを準備してそれに絵を自由に描かせて欲しい
子どもたちは、工作が大好きです。一般的に行事の製作は、みんな同じものを作ります。当園では子どもたちは、決められたものを作ることより自分たちで材料を揃え工夫して作り、作った物で遊ぶことを楽しんでいます。もちろん個人差はありますが、好きなことをしている時に子どもの能力が伸びること、行事の後の再現遊びの中で必要な物を工作するなど行事に関係なく製作を楽しんでいることをご理解いただきたいと思ひます。また、自由に好きなだけ描けるようにスケッチブックは使用していませんが子どもの絵の保存と言う意味も考え、検討します。

《給食を試食できる機会を作って欲しい》

子どもたちが毎日食べている給食を玄関に展示していますが、保護者にも試食していただきたいと思ひています。実施可能か検討します。

貴重なご意見ありがとうございました。

「安心して預けることが出来ました」「丁寧に保育してもらっている」「相談や話を聞いてもらえる」など本園の方針をご理解していただいた嬉しいご意見も多数いただきました。保育園の保護者全員にそう感じていただけるように今回の結果を踏まえて職員一同、日々努めていきたいと思ひます。アンケートのご協力ありがとうございました。

苦情相談等は、下記の委員まで（園でも、相談や苦情も受け付けます）

第三者委員

岩下 吉廣 0995-63-2810

本多 剛 099-222-3188